

古宇利島の五月ウマチー

本日6月20日（旧暦5月15日）は、古宇利島の神事のひとつ五月ウマチーで「粟の結実」の祭祀です。朝6時に島の東の海岸から神事の協力者と区長・書記で神酒・線香などを供え、塩屋に向かって五穀豊穡（ちゆくいむん＝作物の豊作）や島んちゅ（島人）の健康を祈願しました。その後、神アサギで神人と合流し、神アサギから同様に塩屋（東）に向かって五穀豊穡（ちゆくいむん＝作物の豊作）、島んちゅの（島人）健康を祈願しました。ウガンの後は区長が参加者の労をねぎらい神酒をみんなでウサンデーしました。

他の地域で行なわれる五月ウマチーは「稲穂の結実」だが、古宇利島は水源がなく稲作が行なわれなかったので、粟の結実の祈願とのこと（今帰仁研究 vol17 から）



写真↓神アサギから塩屋に向かってウガン



↑写真

昔は鍋にお湯を沸かし、台風の来る方角を占うとの習わしで、現在も麦や粟の穂の代わりにひえや牧草などの穂を入れ再現している。今年はやや南側から沸いたので台風は多いのか？少ないのか？どうなのでしょう。